

対面式におけるメッセージ

学校長 下村 昌弘

1 エネルギーを解放せよ

- これまで3年間、皆さんは未曾有の新型コロナ感染、パンデミックにより、様々な制約を強いられ、思うような学校生活を送ることができなかつたかもしれません。
- おそらく、3学年とも中学3年生の体育祭や文化祭は時間短縮、出し物制限、部活動もずいぶん不自由な環境で、先輩と後輩の関係も十分築けなかつたのではないでしようか。
- しかし、この多感な時期に、様々な場面で行動が制限された皆さんは、人とともにあることの価値を誰より知っているはずです。同学年の仲間とともに先輩・後輩の関係を大事にしましょう。
- コロナ禍の中、これまでため込んできたエネルギーを解き放って、自分の殻を打ち破り、学年を越えて多くの人と交流する場を経験してください。



1年生代表の挨拶

2 憧れる先輩に・かわいがられる後輩に

- 高校は中学校以上に、身体的にも精神的にも大人に近づきます。
- 1年の差は大きく感じるものでしょう。1年生から見たら3年生はすごく大人なお兄さん、お姉さんに見えることでしょう。
- 高校は中学以上に多彩な人たちがいます。人生の喜びや学びの多くは自分とは異なる他者と接することからもたらされるものです。
- 3年生、2年生の皆さん、1年生のあこがれの先輩になってください。高校生活の素敵なモデルになってください。そして下級生を可愛がってあげてください。知なき勇は卑なりです。
- 1年生、上級生に敬意とあこがれをもって飛び込んでください。そして可愛がられてください。しかし可愛がられるためにはあなた自身が素直でなければなりません。
- いずれにしても、つながることでそれぞれの学年が、一人一人の個性輝く関係であってほしいと思います。

3 直列ではなく並列の関係に

- 同級生同士、また先輩と後輩は、「直列」ではなく「並列」の関係で光を放ってほしい。理科で習ったように、豆電球の直列での配列での明るさは暗く、並列の配置だと元の明るさを保ちます。

- つまり、互いに違う人間が互いの違い認め合いながら、共にする関係、複数人間が互いの明るさを弱めることなく、同じ明るさのままでいる関係であることを祈っています。
- さらには電池が2個、3個となり、エネルギーが相乗的に大きくなることで一層明るさが増すような人間関係になることを祈って対面式でのメッセージとします。



生徒会からの学校生活のプレゼンテーションビデオ視聴